

# 高専通信

苫小牧工業高等専門学校

National Institute of Technology,  
Tomakomai College

VOL.743

2016年11月発行

〒059-1275 苫小牧市字錦岡 443

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係

TEL0144-67-0213

<http://www.tomakomai-ct.ac.jp> mail pub\_info@tomakomai-ct.ac.jp



## 特集 国際交流

ニュージーランドEIT研修

モンゴルとの国際交流と海外展開

オープンキャンパス

第1・3学年オリエンテーション

高専体育大会／クラブ活動報告

## 特集・国際交流

# ニュージーランド EIT研修

今年のニュージーランド研修は8月26日から9月11日の日程で、道内高専から学生23名、教員3名が参加して行われました。

本校から参加した学生18名の中から7名に研修の思い出を語ってもらいました。

情報工学科4年 藤江 優真



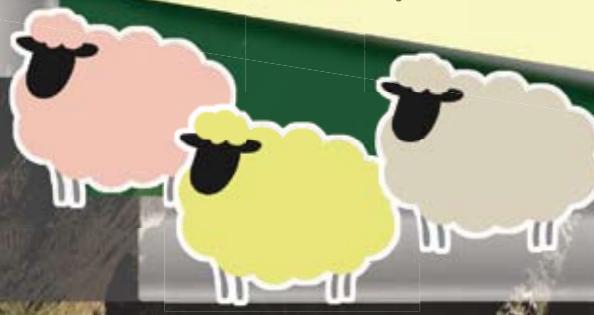
私は語学力・コミュニケーション能力の向上と、TOEICの勉強のモチベーションを上げるきっかけにするという目標をもってニュージーランドに行きました。ニュージーランドで一番心に残っていることは、現地の人々がとてもフレンドリーだったことです。学校のクラスメイトはシャイな学生がいるが、初めて会った時から気さくに話しかけてくれて、すぐ仲良くなれました。近くの公園を散歩していたときも、すれ違った人に「Hi!」と声をかけられることが多かったです。そのおかげで自分も積極的にたくさんの人と話して聞く力と話す力、両方レベルアップすることができました。今回の研修をきっかけに、他の国にも行って英語に触れるながら、文化や食生活などを知りたくなりました。とても楽しく貴重な経験になったと思います。



物質工学科3年 辻崎 晴人



私は今回の研修で様々なことを経験しました。一番印象的なのは、英語を話すことの難しさ。普段日本では英語を話すことが少ないので、最初は英語でのコミュニケーションに苦労しました。しかし、学校での授業や、ホームステイファミリーとの生活の中で、徐々に慣れることができました。英会話の中で、確かな英語力の成長を感じられ、意義のある研修であったと思います。また、今回の研修では、たくさんの友達を作ることになりました。ファミリーや、クラスメイト、また高専で今まで話すことのなかつた人とも友達になることができ、本当に良かったです。これからも英語を頑張って、自分の成長した姿をファミリー、友達に見せられるように、またニュージーランドに帰りたい。



情報工学科3年 西下 珠令



私が今回このEIT研修に参加してたくさんのこと学び、経験してきました。2週間のホームステイとEITの学校への通学は普段経験することのない貴重な体験をたくさんすることができます。日本とは違う生活や授業、文化などを毎日感じ取ることができました。2週間の生活の中で日々気づくことがあります。日本の道などふとしたところで学べることがたくさんありました。この新しいことを学べたこと、得るものが多く貴重な時間を過ごせたこと、ほんとうに光栄です。また、この研修に携わってくれた先生や関係者の方々にとても感謝しています。

物質工学科3年 小林 祐乃



初めての海外は新鮮でした。周り飛び交う言葉に初日は落ちつかず、それでもホームステイ先のマザーがとてもおもしろくて親切だったので、すぐに馴染むことができました。ネイティブの人たちは話すスピードがとても速くて聞き取るのに苦労しましたが、おかげでヒアリングが上達しました。学校では様々な国から来た留学生たちと一緒にしています。みんなフレンドリーでお友達がたくさんできました。純粋に嬉しかったです。近隣の牧場や観光英語を学びました。とにかく楽しむことができました。仲良くなれたホストファミリーや友達、経験してきたことを無駄にせず、またニュージーランドに行きたいです。



機械工学科3年 青山 純都



私を今回の研修制度に参加させていただき、ありがとうございました。日本を離れるという経験を今までにしたことがなかったので、初めはものすごく緊張し、2週間は長いと思っていましたが、いざ終わりを迎えると本当にあつという間の出来事でした。それは、毎日が充実していたからこそ言えることであります。EITにもbrotherと呼ばれる親友ができました。そのインカラきたbrotherに日本語を少し教えてあげました。「I love you」のアラビア語も教わりました。本当にたくさんの経験と思い出をこの短い期間で得ることができました。この研修に携わっていただいた先生方、近ツリの方々、両親には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

環境都市工学科3年 佐藤 大生



この短期留学は英語能力の向上はもちろん私生活や建造物、特産品などの異文化についてもたくさん学ぶことができ、まさに充実した17日間でした。EITでは病院でのシチュエーションの英会話や、日常で使う感嘆の言葉などについて学びました。日本人留学生と他国の留学生の席が交互に配置されていて、説明されていることが分からなく、初めはとても苦労しましたが今となってはそれが一番英会話能力向上のためになつたなど感じています。ホームステイでは特にニュージーランドの食文化に触れることが出来たのがとても大きかったです。また行きたい、そう思えるような有意義な留学ができてとても幸せです。



8/20(土)・21(日)

平成28年度

## オープンキャンパスの報告

教務主事補 三上 剛



今年の「オープンキャンパス」は、8月20日(土)、21日(日)に開催しました。昨年は中学校の夏休み開始直後に実施しておりましたが、学習塾の試験など各種イベントと重なるので参加しづらいとの声を受け、今年は1ヶ月ほど遅い開催としました。

また、今年は新たな試みとして、午前と午後で参加者を分けることなく終日学校内を自由に出入りできるようになります。これにより、最大8ヶ所を見学体験できるようになります。さらに、学生寮の食堂でも昼食を食べられるようにし、見学先にクラブ活動を加えました。

また、来場者の多くが「学ぶ」ことよりも「見て」ることを楽しんでいました。見学先には、各学年による実験や、各科の授業風景など、多くの見学者が興味津々で見入っていました。

君に感謝申上げます。

本校は約9年前からモンゴルとの国際交流を続け、近年は「高専制度の海外展開」に発展しています。今年の交流を中心に紹介します。



## モンゴルとの国際交流と海外展開

### 特集・国際交流

副校長(総務主事)  
中野 渉

モンゴル3高専の学生が8月に都市・環境系で6日間研修しました。学生は、モンゴルに近年相次いで新設されたIET高専、科技大付属高専、新モンゴル高専からの合計9名(1~3年生)。都市・環境系の実験のほか、苦東見学なども体験しました。最終日の発表会では新モンゴル高専1、2年生の女子学生が流ちょうな日本語で発表して参加者を驚かせました。

### モンゴル3高専学生研修



### モンゴル高専教員研修



IETの3名の先生が9月に12日間研修を受けました。都市・環境系と機械系で実習を中心とした研修を受け、本校同窓会の樽前登山にも参加しました。



### ◇これまでのモンゴルと本校の主な交流◇

- 平成19年 モンゴル科学技術大学MUSTと学術交流協定締結(伊藤校長(当時)・岩波准教授・東藤コーディネータ)
- 平成24年 日本式高専設置に向けてモンゴルから本校に視察団
- 平成25年 澤田名誉教授他がモンゴル視察／モンゴルから視察団／IET高専設置／本校OB高田氏が短期講師としてモンゴルへ
- 平成26年 IETから3教員研修／本校OB田中氏・門口氏が短期講師としてモンゴルへ／  
IETから3教員研修／国立高専機構がモンゴル教育科学省と覚書締結
- 平成27年 5月 IETから3教員研修／IET高専と覚書締結(黒川校長)・短期講師栗山教授、村本教授／  
モンゴルからビジネス訪問団11名(科技大付属高専校長、政府関係者、企業経営者他)地元企業とビジネス交流会開催
- 平成28年 IETに短期講師(澤田名誉教授・OB田中氏)  
モンゴル3高専から9名の学生研修／IETから3教員研修／  
IETに短期講師派遣(渡辺准教授)／高専機構がウランバートルにオフィス開所(八田教授出席)

## オリエンテーションに参加して



1年4組  
阿部 聖

1学年オリエンテーションは5月12日、13日で行われた。1日目。昭和新山で昼食と写真撮影をしてからサンパレスに行った。着くと開講式があり、次にコミュニケーションゲームをした。日高青少年の家から石山浩幸さんと、北海道教育庁胆振教育局から松岡賢晃さんが来て下さり楽しく交流できたと思う。学生会懇談会では、お菓子と飲み物が配られ、硬くならずに話を聞けた。2日目。朝食を食べると、性に関する講演会でSCORA北海道の方々が来て下さり、データDVや性同一性障がい、性感染症について話してくださいました。最後に2日間で何を学んで何を思ったか発表した。慌ただしくも濃い内容に、高専生活のいいスタートをきれたと感じた。



## オリエンテーションについて



1年5組  
滝本 彩乃

私たちは5月、洞爺湖サンパレスでオリエンテーションを行いました。

入学して間もない頃で、知り合ったばかりのクラスメートと過ごすことに最初は緊張と不安がありました。

しかし、学生会の方々が企画してくださった集会や、クラス対抗のゲームを通じて、最初に感じていた緊張や不安は知らずの間になくなり、仲の良い友達もできました。また、他学級の人と話す機会もあり、友達の輪は一気に広がりました。



温泉に入ったり、バイキングで食事したり、お土産を選んだり、と仲良くなった友達とたくさんの思い出を作ることができました。

オリエンテーションを通じて、多くの仲間と交流することができ、とても良い経験となりました。

## 平成28年度保護者参観の結果について



本年度も昨年度に引き続き保護者参観を4月28日(木)に実施致しました。今年度は保護者の皆様により授業参観いただける座学の科目が多い曜日である火曜授業としました。今回の保護者参観も保護者の皆様に授業の様子をご覧いただき、学校の様子や学校施設などを知っていただく機会として企画したものです。保護者参観日当日は205名(昨年度は204名)と多くの参加者に9時から16時までの間、自由にご覧いただきました。今年度は学科によっては卒業研究についてもご覧いただき、授業をご覧いただいた保護者の皆様からは、「普通高校では行っていない授業(研究の準備をして

いる様子)を見る良い機会であった」「子供たちの学校での様子を知る良い機会であった」など、ご好評をいただきました。教室によつては参観スペースが狭く、保護者が廊下から参観される場面がいくつか見られましたが、保護者参観を盛況のうちに終えることができました。

最後に、保護者の皆様におかれましては、今後とも学校と連携を密にし、教育・学生生活をご支援いただきますよう、ご協力をお願い致します。

教務主事補 池田 健一

## 第1学年オリエンテーションについて



1年1組  
當摩 愛星

5月中旬、創造工学科1年生を乗せたバスは洞爺湖周辺を走っていました。第1学年オリエンテーションです。昭和新山では集合写真を撮った後、景色を眺めながらの昼ご飯と大自然を満喫しました。会場のホテルでは、コミュニケーション演習、クラス対抗クイズ、命の授業を受けました。体験型のものがとても多く、

楽しみながら学べ、とても充実した時間を過ごすことができたと思います。また、5クラスの学生全員がひとつの場所で過ごすことによって、「横のつながり」を広げる良い機会になったと思います。オリエンテーションはたったの2日間でしたが、ふだん接することができない人のふれ合いやクラス内での仲を深めることができ、とても良い体験となりました。



# 第1学年 オリエンテーション



## オリエンテーションについて



1年2組  
佐山 遥紀

1学年オリエンテーションは、クラスの友達との関係を広げるいい機会になったと自分は思います。出発時は仲のいい友達ばかりとの行動だったけれど、サンパレスでのコミュニケーションゲームなどの行事をしていくにつれて、これまであまり話さなかつたクラスの友達と話している人たちが増えたので良かったと思いま

す。オリエンテーションではコミュニケーションの大切さや様々なコミュニケーションの方法などをゲーム感覚で学ぶ事が出来て良かったと自分は思います。今回のオリエンテーションで学んだことが普段の学校生活に役に立てばと思います。



## 第1学年オリエンテーション



1年3組  
石川 陸

今年5月上旬、私達はオリエンテーションへ行きました。まだ高専に入学して間もない頃だったので、慣れない仲間と過ごす2日間でした。1泊2日の日程で昭和新山と洞爺サンパレスへ行き、親睦を深めるためのレクリエーションや今後の人生で役立つキャリア教育等を行いました。新制度である私達創造工学科生は、例年までの学科制と異なり入学した時点でのクラスで今後5年間は過ごせません。ですので、例年であれば数年間をかけてゆっくりと築いていく関係も今年1年で作らなくてはいけませんし、2年次からの新しいクラスの仲間とまだ出会うこともできません。その視点から考えても、今回のオリエンテーションは意義深いものだったと考えます。



## 第3学年オリエンテーションについて



物質工学科3年  
八戸 さくら

私たち物質工学科のオリエンテーションでは、4年でのコース選択(生物、材料)のそれぞれの学習内容、JABEE、進学、就職について、聞くことができました。そして苫小牧高専のOBの方2人からは進学後と就職後のお話をいただきました。

藤田さんからは、在学中や専攻科に行った後の研究内容、専攻科卒業後の進路、再び苫小牧高専に教員として戻ってきた経緯などを聞くことができました。特に専攻科についてや、その後の進路などは、私は詳しく知らなかったので、大変参考になりました。

松浦さんからは卒業後、就職し、どのような仕事を任せられたか、転職の経緯、苦労。よかつたこと、後悔していることなどのお話を聞いていただきました。3度も転職しているそうでとても大変だったということがよく伝わってきました。

どの話も近い将来、私たちが自分自身で決めたり、体験したりすることなので、直接お話を聞けて本当に良かったです。ありがとうございました!

## オリエンテーションに参加して



環境都市工学科3年  
佐藤 大生

第3学年オリエンテーションはこれからの中学校での授業や将来の進路についての勉強からスポーツ、BBQと忙しいながらもとても心身共に充実した1日となりました。レク活動(スポーツ)では学科の先生とドッジボールをして、その後アルテンでジンギスカンを食べました。学科の先生と普段ではないような会話ができる関係がぐっと近くなりました。同時に先生方の有難さを感じることができ、とてもよい時間を過ごしました。その後には同学科の卒業生による講義がありました。貴重な女性技術者の目線からの卒業から就職についての話も聞けて、とても有意義な時間を過ごしました。この1日で学んだことはしっかりと胸に留めこれから進路に生かしていくことを思います。



今年度の春季体育大会は、前日の天候が良くななく、無事開催できるか危ぶまれましたが、何とか全種目を行うことができました。今、体育大会を振り返つてみると、ほとんどの競技が盛り上がりを見せていましたが、中でも学科対抗大縄跳びがいい盛り上がりを見せています。今大会から新しく取り入れた種目でうまくいかず心配もありましたが、各学科一致団結して取り組めていたよかったです。5年生にとっては今回で最後の春季体育大会でした。みなさんありがとうございました。今後は、今大会を開催するにあたって協力してくれた体育委員や学生会、審判の手伝いをしてくださった各部活および先生方本当にありがとうございました。今後の体育大会がよりよくなりたいと思います。最後に、今大会を通じて協力してございました。今後も一生懸命頑張っていきますので皆さんの理解、ご協力よろしくお願ひいたします。

## H28年度 春季体育大会を終えて

体育委員会委員長 電気電子工学科5年 佐藤新之助



## 第3学年オリエンテーションについて



機械工学科3年  
平元 佳菜

機械工学科3年生は6月24日にオリエンテーションを行いました。午前の部では、まず教室で担任の浅見先生より今後の学習に対する姿勢や進路等についての説明をして頂き、その後、体育館でドッジボールを楽しみました。まだ3年生だし、1年以上先だから大丈夫だと思っていましたが、4年生のインターンシップ、そして少しずつ固めていかなくてはいけない進路、本格的に始まるレポート…など、あっという間に5年生になるのだと改めて思い知らされました。

昼食はアルテンでジンギスカンを食べ、昼食後は、卒業生お二方のお話を伺いました。非常に大局的なお二人のお話でしたが、共通して出てきたのは海外についての話であり、英語でのコミュニケーションの心構えを知るとともに英語勉強の大切さを実感しました。

今後は、国語や英語等のコミュニケーション科目をもっと勉強するとともに、卒業までの学校生活を大事にしていきたいと思います。

## オリエンテーションについて



電気電子工学科3年  
斎藤 太誓

電気電子工学科3年のオリエンテーションの主な目的はJABEEプログラムについての理解を深め、教職員との親睦を深めることでした。

午前中は、資格取得に関する話に始まり、就職・進学に関する話、3~5年生までのカリキュラムについての話を聞きました。そこでは、これから役立つ情報や将来取つておいて損しない資格について、また本年度の就職・進学の状況を教えてもらいました。これらの説明によって

クラスの全員が就職・進学に対する意欲が高まったと思います。

午後はアルテンで昼食を食べ、各テーブルで先生方と話すことで午前中には聞けなかった話など色々なことを話し、親睦を深められたと思います。その後、卒業生の貴重な話を聞き、就職・進学どちらにするか決めていた人も決めあぐねていた人も、もう一回自分の進路を考え直すいい時間を過ごせたと思います。

今回のオリエンテーションを通じて、学生一人一人がこれまでの学生生活を見直し、これからの生活へ繋げられたと考えた1日でした。

## 第3学年 オリエンテーション



## 第3学年オリエンテーションについて



情報工学科3年  
菊池 雄登

情報工学科3年のオリエンテーションは、午前に会社見学、午後にこれからの中学校生活、就職・進学についての説明と卒業生2名による講演が行われた。

会社見学では、株式会社I-TECソリューションズに訪問し、サーバ機器やセキュリティシステム、災害対策について見学し、会社というものが具体的にどう動いているかを実際に見ることができた。見学後の、高専卒業生との質問会では、FEなどの資格について、実際に役に立つものかどうかを聞くことができた。

午後の講演では先に情報科職員によるオリエンテーションの後、高専卒業生の講演が行われた。この講演では、「転職について」や、「高専生は英語が弱いので、そこを重点的に鍛えるべきだ」といった話を伺うことができた。

最後に、今回のオリエンテーションを通じて、漠然としていた、進路について少しだれども、イメージを持つことができた。



## 第51回全国高等専門学校体育大会の結果について

第51回全国高等専門学校体育大会は、8月17日(水)から豊田工業高等専門学校が主管校となり、東海・北陸地区で開催されました。

本校からは、陸上競技、水泳、硬式テニス、剣道、サッカー、卓球、ソフトテニス、バスケットボールの8種目に73名の選手が出場しました。

なお、成績の詳細は次のとおりです。

# 第51回全国高等専門学校体育大会の成績

<b>陸上競技</b>			
(男子)	110mH	五十川 智芹(M2)	予選敗退
	800m	野崎 優斗(K3)	予選敗退
	1500m	岩城 康太(1-3)	予選敗退
	5000m	本間 龍ノ介(K2)	第2 2位
	5000m	宇佐美 匠也(1-1)	第2 3位
やり投	泉 鴻(M3)	第2 2位	
走幅跳	渋谷 遼(S4)	欠 場	
三段跳	渋谷 遼(S4)	欠 場	
4×400mリレー	泉 鴻(M3)・野崎 優斗(K3)		
	野田 純希(S2)・加藤 璃旗(M2)		予選敗退
	【須崎 昌和(S5)・岡部 雄飛(M4)】		
(女子)	100m	岩佐 百華(A2)	予選敗退
	800m	岩佐 百華(A2)	予選敗退
	走幅跳	丹野 優(1-2)	第1 6位
<b>硬式テニス</b>			
(女子)	個人戦ダブルス	木下 七海(S3)・本田 汐里(J3)	1回戦敗退
<b>剣道</b>			
(男子)	団体戦	1回戦敗退	
<b>サッカー</b>			
(男子)	1回戦敗退		
<b>卓球</b>			
(女子)	個人戦ダブルス	近藤 里美(A3)・石田 梨紗(K2)	予選敗退
	女子地区対抗戦	1回戦敗退	
<b>バスケットボール</b>			
(男子)	1回戦敗退		



## 第52回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会の結果について

第52回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会が7月9日(土)～10日(日)(バスケットボール競技は7月16日(土)～17日(日))の2日間にわたり本校の主管で分散開催されました。開催前日に練習・代表者会議が行われ、翌日から2日間にわたり13競技で熱戦が繰り広げられました。

なお、成績の詳細は次のとおりです。

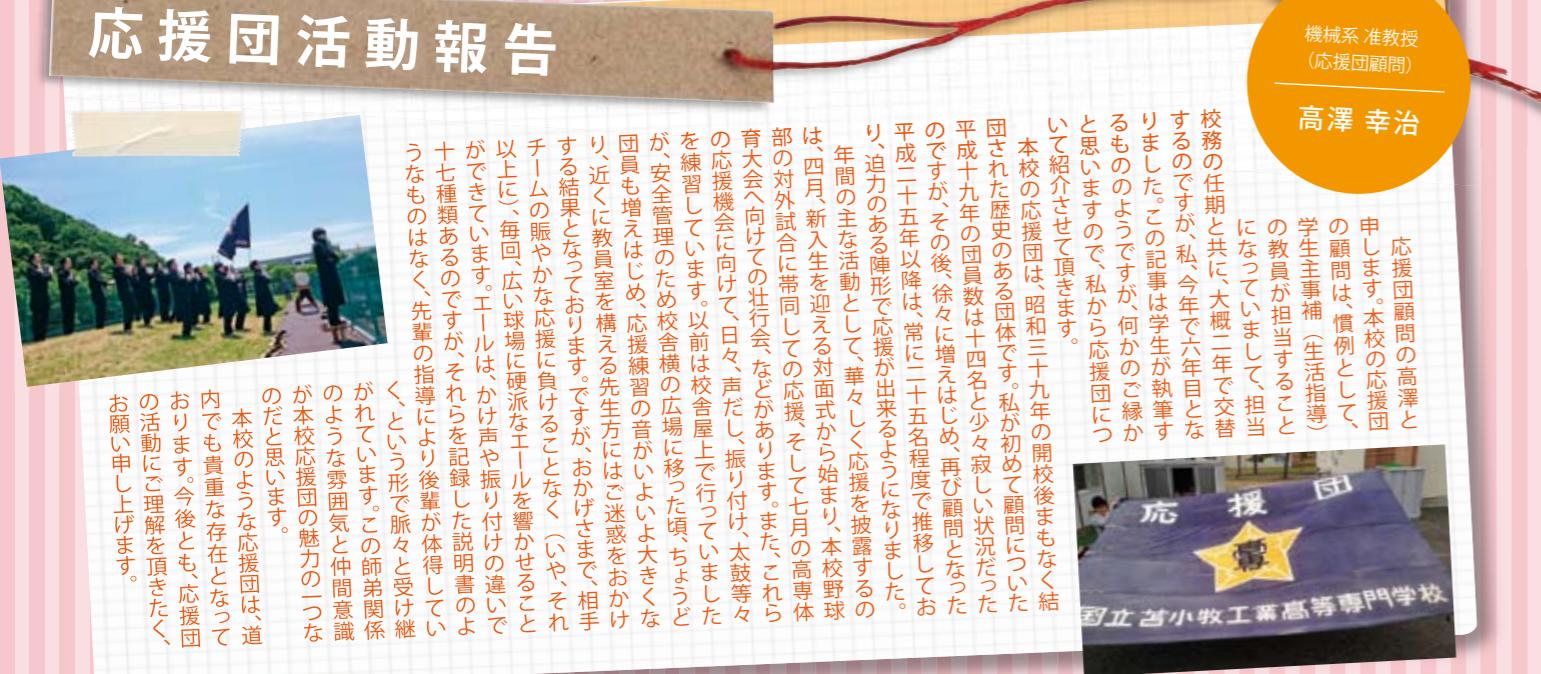
## 第52回北海道地区国立工業高等専門学校体育大会成績一覧

団体戦					個人戦					
種目		苦小牧	函館	釧路	旭川	種目		1位	2位	3位
陸上競技	男女	2位	3位	1位	4位	ソフトテニス	男子ダブルス	浦野(釧路)	J5 千葉	小川(釧路)
バスケットボール	男子	1位	3位	2位	4位		女子シングルス	永田(釧路)	M5 藤井	中尾(釧路)
	女子	4位	2位	3位	1位	卓 球	女子ダブルス	1-2 渡邊	太田(旭川)	-
バレー ボール	男子	2位	3位	1位	4位		女子ダブルス	太田(旭川)	1-2 渡邊	桜井(釧路)
	女子	3位	1位	2位	4位		藤沢(旭川)	K3 後藤	森田(釧路)	
ソフトテニス	男子	2位	4位	1位	3位	柔 道	男子シングルス	佐藤空(旭川)	宮田(旭川)	佐藤凌(釧路)
卓 球	男子	2位	4位	1位	3位		女子シングルス	森川(釧路)	西脇(旭川)	小川(釧路)
柔 道	男子	-	2位	3位	1位		男子ダブルス	相澤(釧路)	大久保(旭川)	松原(釧路)
剣 道	男子	1位	3位	4位	2位		佐藤空(釧路)	宮田(旭川)	佐藤凌(釧路)	
	女子	-	-	-	1位		女子ダブルス	A3 近藤	森川(釧路)	1-2 中辻
バドミントン	男子	2位	4位	1位	3位		K2 石田	田口(釧路)	1-1 平林	
	女子	2位	3位	1位	4位	柔 道	男子60kg級	後藤(旭川)	福井(旭川)	古田(釧路)
硬式野球	男子	2位	4位	1位	3位		男子73kg級	林川(釧路)	芳賀(旭川)	濱塚(旭川)
アーチェリー	男子	1位	3位	2位	4位		男子90kg級	在間(旭川)	二本柳(函館)	-
テ ニ ス	男子	2位	4位	1位	3位		男子90kg超級	大野(函館)	-	-
サッカー	男子	1位	2位	3位	4位		女子48kg級	関(函館)	-	-
ハンドボール	男子	2位	1位	3位	-		女子52kg級	松山(函館)	-	-
陸上個人戦					剣 道	男子	トーナメント	名畠(旭川)	佐々木(釧路)	S3 小倉
						女子	リーグ	田中(旭川)	青野(旭川)	濱野(函館)
100m	男子	西村(釧路)	川野(函館)	尾形(旭川)	バドミントン	男子シングルス	中村(釧路)	堺(釧路)	A4 大野	
	女子	中野(函館)	A2 岩佐	1-2 丹野		女子シングルス	工藤(釧路)	M3 平元	長谷川(旭川)	
200m		尾形(旭川)	増田(釧路)	S4 三浦		男子ダブルス	中村(釧路)	大井(釧路)	A4 大野	
400m		松崎(釧路)	松本(釧路)	M3 泉		堺(釧路)	浅沼(釧路)	K4 斎藤		
800m	男子	杣澤(釧路)	K3 野崎	S5 須崎		女子ダブルス	松野(釧路)	藤山(函館)	K4 橋本	
	女子	A2 岩佐	鈴木(釧路)	1-4 織本		斎藤(釧路)	金丸(函館)	J4 高山		
1500m		1-3 岩城	清水(釧路)	菅原(釧路)	テ ニ ス	男子シングルス	角谷(釧路)	A4 片桐	西村(旭川)	
5000m		K2 本間	1-1 宇佐美	飛鳥(釧路)		女子シングルス	杉山(函館)	J3 本田	藤井(釧路)	
110mH		川村(函館)	M2 五十川	M4 岡部		男子ダブルス	加藤(釧路)	千財(旭川)	S5 菅藤	
4×100mR		西村/増田啓/増田悠/勝木(釧路)	川村/川野/松本/澤田(函館)	M4 岡部/A5 大野/S4 渋谷/S4 三浦		井坂(釧路)	西村(旭川)	A4 片桐		
4×400mR		M3 泉/S2 野田/S4 渋谷/K3 野崎	西村/杣澤/清水/松崎(釧路)	松本/澤田/清水/横田(函館)		女子ダブルス	J3 本田	杉山(函館)	M2 野上	
走高跳		澤田(函館)	横田(函館)	齊藤(釧路)	アーチェリー	S3 木下	亀谷(函館)	1-4 松山(奈)		
走幅跳	男子	澤田(函館)	S4 渋谷	勝木(釧路)		男子	M5 鐙	K3 村田	J4 小笠原	
	女子	山口(旭川)	1-2 丹野	来栖(函館)		女子	佐々木(函館)	鹿内(函館)	-	
三段跳		横田(函館)	S4 渋谷	松田(釧路)						
砲丸投	男子	山下(釧路)	小野(函館)	菅原(釧路)						
	女子	佐藤(釧路)	工藤(函館)	-						
円盤投		小野(函館)	山下(釧路)	A3 岩崎						
やり投		高城(釧路)	M3 泉	増田悠(釧路)						



※Mは苫小牧高専機械工学科、Aは電気電子工学科、  
Jは情報工学科、Sは物質工学科  
Kは環境都市工学科。数字は学年

# 應援團活動報告



かれていた。この日は、  
のような雰囲気と仲間意識  
が、本校応援団の魅力の「つな  
のだ」と思いました。

本校のよつたな応援団は、道  
内でも貴重な存在となつて  
おります。今後とも、応援団  
の活動にご理解を頂きたく、  
お願い申し上げます。

## カーリング部活動報告

電気電子工学科4年

岡 翔平



カーリング部は、現在男子6名女子1名で活動しています。市内ときわスケートセンターで月1回

カーリング部は、現在男子6名女子1名で活動しています。市内ときわスケートセンターで月1回

# 資源機能化研究室

## 研究室紹介

創造工学科 応用化学生物系

藤田 彩華

当研究室では、バイオマスの有効的な利用を目指した研究を行っています。一般的に「植物などの生物から生まれた再生できる資源」をバイオマスと呼びます。生物由来の資源というところで種々あります。バイオマスには、家畜排泄物や家庭から出される木質の主要成分である「セルロース」や水産加工廃棄物として廃棄されるカニ殻に含まれる「キチン・キトサン」を取り扱っています。これらは、みなさんにとって聞き慣れない言葉かもしれません。綿やレーヨンといった衣類繊維や紙はセルロースから作られています。キチン・キトサンは健康用サプリメント、抗菌用綿棒に配合されます。実は、身近などころにあり日頃から実際に使っています。



カニ殻を化学的処理し、キチンのみを抽出

当研究室では、セルロースやキチン・キトサンを用いて環境にやさしい材料作りを目指して研究を行っています。現在は「重金属を除去する材料」の開発を進めています。重金属は地球上に広く分布している元素です。鉄や亜鉛のように生物が生きていく上で必須となる重金属もありますが、一方でカドミウムや水銀のように生物にとって非常に毒性が高く、極微量であっても体に悪影響が出るものも存在します。そのような重金属による土壤や地下水、川や海などの汚染は、主に工場や鉱山からの廃水を原因として起こっています。日本では、今でこそ重金属に対して排水規制がなされて適切な処理が行われていますが、かつて水俣病やイタタイ病など重金属汚染を原因とした公害が発生したことは、みなさんが存知だと思います。一般に重金属を含む廃水は、水に溶け込んでいる重金属を化学的に分離するためには、数段階の工程が必要であつたりと欠点がいくつか挙げられます。そこで、安全で簡単に重金属を処理を行い、水に溶けない物質として回収・除去しています。しかし、その化学処理には危険な薬品を使用したり、生成した物質を分離するために、数段階の工程が必要であつたりと欠点がいくつか挙げられます。一方で、カドミウムや水銀のように生物にとって非常に毒性が高く、極微量であっても体に悪影響が出るものも存在します。そのような重金属による土壤や地下水、川や海などの汚染は、主に工場や鉱山からの廃水を原因として起こっています。日本では、今でこそ重金属に対して排水規制がなされて適切な処理が行われていますが、かつて水俣病やイタタイ病など重金属汚染を原因とした公害が発生したことは、みなさんが存知だと思います。一般に重金属を含む廃水は、水に溶け込んでいる重金属を化学的に分離するためには、数段階の工程が必要であつたりと欠点がいくつか挙げられます。そこで、安全で簡単に重金属を処理できるような薬品の開発をバイオマスを用いて取り組んでいます。今後は、さらなるバイオマスの有用性を目指して様々な機能を持つ材料の開発を行いたいと思っています。

## 人事異動

平成28年5月31日付

事務職員・技術職員

【辞職】 学生課看護師 山本 佳小里

平成28年8月1日付

教育職員

【採用】 創造工学科准教授 柿並 義宏(新規採用)  
(総合自然科学系担当)

## 新任教員御挨拶

着任の御挨拶 創造工学科 電気電子系 奥山由



7月に着任致しました奥山由と申します。出身は千葉で、今年で30歳になります。私の専門である放電プラズマは、身の回りの家電製品をはじめ様々な所に応用されており、電気、機械、化学、物理など幅広く勉強することができます。医療・福祉分野においても応用されており、今後、研究を行っていきたいと考えています。放電プラズマを実際に見て、触れて体感し、興味を持って頂ければと思います。宜しくお願い致します。

平成28年7月1日付

教育職員

【採用】 創造工学科特命助教 奥山由(新規採用)  
(電気電子系担当)

【昇任】 創造工学科准教授 所哲也  
(都市・環境系担当)

事務職員・技術職員

【採用】 学生課看護師 齊藤美幸(新規採用)

着任挨拶 創造工学科 総合自然科学系 柿並義宏



総合自然科学系准教授として8月に着任しました。苦小牧は思った以上に湿度の高いことにびっくりしています。授業は物理・応用物理を担当しています。南北アメリカ、アフリカ、ヨーロッパ諸国、アジア諸国、太平洋の島々(石のお金の島ヤップ島など)北極圏の島、南極を研究で訪れてきました。地球と宇宙の境目を研究しています。自身の研究で地震による大気の振動が宇宙の境目まで届いていることが分かってきて、驚いています。システムエンジニアとして企業で働いた経験、台湾で4年ほど住んでいた経験もあります。これらの様々な経験が学生の皆さんに還元できるように頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

## TOPICS

### TOPICS 01

#### 北海道内4高専が 北海道科学大学と包括連携協定を締結

北海道内の4高専は、8月31日(水)に北海道科学大学と教育・研究等に関する包括連携協定を締結しました。

今後は、北海道内の4高専が持つ高い技術および教育に関する知見と、北海道科学大学が有する工学系、医療系、社会学系等の多彩な分野の人的・知的資源を互いに活用していくことで、地域社会の発展と人材育成および学術の振興に寄与していくことが期待されます。

### TOPICS 03

#### 北海道庁にて道内高専の ロボコン及び研究活動に 関する展示会を行いました

9月15日(木)・16日(金)の二日間にわたり、北海道内4高専と北海道との包括連携協定に基づく事業である「北海道内工業高等専門学校のロボコン及び研究活動に関する展示会」を、札幌市の北海道庁1階「道民ホール」にて開催しました。会場では、10月に釧路高専で開催される高専ロボコン北海道地区大会の案内や、道内各高専の教員の研究活動の紹介、また室蘭工業大学と道内4高専などの共同事業である「文部科学省 地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」の概要及び各校の取り組みについてのポスターを展示し、二日間の開催で延べ180人を超える方々にご来場頂きました。

### TOPICS 02

#### 第16回CGコンテスト 優秀賞、最優秀賞受賞

2016年度精密工学会北海道支部学術講演会にあわせて8月27日に旭川市大雪クリスタルホールで行われた、「第16回CAD/CGCAD/CGCAD/CGモデリングコンテスト」において、本校専攻科電子生産システム専攻2年の堀川洋平君が最優秀賞を受賞しました。

CAD/CGモデリングコンテストは、高専生や大学生がCADやCGソフトを利用して作った3次元モデルやアニメーション作品を審査し、制作されたモデル品質の高さと、モデリングに注がれた努力と情熱を讃えることを目的として行われているものです。

堀川君のモデリングテーマは「トラックボールーSmart Palmー」。市販のトラックボールの良い所を集めて、親指型、大きな上部投影面積、高さを兼ね備えた自分好みのフォルムを目指してモデリングし表現しています。精密であり質感をうまく表現しているところが評価され受賞しました。

また、本校より機械工学科5年の渡辺優夢君が優秀賞を受賞しました。

### TOPICS 04

#### 本校で「ETロボコン」 北海道地区大会が 開かれました



9月18日(日)に本校で「ETロボコン」北海道地区大会が開催されました。「ETロボコン」では、同一のロボットを使用し、競技コースの走行タイム、難所攻略、ゲーム攻略といった課題をクリアするため、ロボットにどのように動作させるか、というプログラムの開発を各チームで行います。そのプログラムの設計図となる「モデル」の評価と実際の競技コースでの走行タイムなどの総合得点により優勝が争われます。今回は、初級者向けのデベロッパー部門プライマリークラスと経験者向けのデベロッパー部門アドバンストクラスの競技が行われました。

本校ソフトウェアテクノロジー部ETロボコン班を含め、専門学校、大学、企業などから計15チーム、55名が参加し競技を行いました。一般の来場者33名を含め総計117名の来場があり、盛況のうちに幕を閉じました。

## 高専協力会だより

### 平成28年度の高専協力会の活動について

#### 苦小牧工業高等専門学校協力会とは?

当会は、産学官金連携の調整など、各関係機関とのパイプ役として苦小牧工業高等専門学校に協力するとともに、各関係機関との連携を密にし、教育研究の充実、地域産業の発展に資することを目的として活動しております。(会員企業数105社 平成28年11月15日現在)

#### 苦小牧高専協力会の活動紹介!

##### ■第4回会員企業合同研究会 並びに苦小牧高専 教育・研究フォーラム2016

本年2月、苦小牧工業高等専門学校の就職希望の学生に対し、ホワイトパークサンシャインにて、協力会会員企業による合同研究会を実施しました。本会の出展企業の概要について理解を深めもらうと共に、地元企業に一人でも多くの優秀な人材の就職促進を図ることを目的とし開催いたしました。出展企業25社、219名の学生が参加し、盛大な研究会となりました。



また、同日同会場にて教育・研究フォーラム2016を開催しました。室蘭工業大学ものづくり基盤センター長清水氏より「ものづくり・ひとづくりへ人材育成による地域創生とイノベーション創出～」と題しまして講演頂きました。

その後、教職員研究シーズ発表及び専攻科研究発表会が行われ、教職員からは10テーマ、専攻科による研究発表では電子・生産システム工学の学生からは16テーマ、環境システム工学の学生からは13テーマの合計39の研究が発表され、多くの方にご来場いただき、成功裏に終了することが出来ました。

フォーラム終了後には、教職員、専攻科生、会員企業をはじめとする多くの方々と交流会を開催致しました。

本年度の教育・研究フォーラムは本年12月6日(火)、第5回会員企業合同研究会は12月19日(月)に開催予定です。



##### ■平成28年度定期総会

本年6月、グランドホテルニューヨークにて当協力会の定期総会・記念講演・懇親会を開催致しました。

総会では、平成27年度事業報告並びに収支決算報告、平成28年度事業計画(案)等について審議され、原案通り承認頂きました。

また、役員の変更について、幹事に一般社団法人苦小牧建設協会の渡部氏が新たに就任されたことを報告致しました。

総会終了後、記念講演として、北海道曹達株式会社上席顧問の東氏より「『親の七光り』…実は『知』なし『能』なし、『気力・執念・精神力』のみ」、続いて苦小牧工業高等専門学校創造工学科須田教授から「苦小牧高専の使い方」と題しまして講演頂きました。

記念講演終了後には、出席して頂きました教職員はじめ当協力会会員及び来賓の方々を交え懇親会を開催し、終始和やかなうちに平成28年度定期総会の全日程を終了致しました。

# 高専通信

苫小牧工業高等専門学校

## vol.143 CONTENTS

- 01 【特集・国際交流】  
ニュージーランド EIT 研修
- 03 【特集・国際交流】  
モンゴルとの国際交流と海外展開
- 04 オープンキャンパスの報告
- 05 第1学年オリエンテーション
- 06 平成28年度保護者参観の結果について
- 07 第3学年オリエンテーション
- 08 平成28年度春季体育大会を終えて
- 09 高専体育大会
- 10 応援団活動報告
- 11 演劇部活動報告／茶道部活動報告
- 12 カーリング部活動報告／寮祭を振り返って
- 13 研究室紹介／高専協力会だより
- 14 人事異動／新任教員ご挨拶／TOPICS

### 編集後記

平成28年度前半の動きを伝える高専通信をお届けします。本年度は、「創造工学科第一期生」を迎えての新学期となりました。今後は、一期生の進級に合わせて、学校行事なども一部変わっていきます。学生と教職員一同協力して、よりよい学校となるよう頑張りたいと思っております。

本校では、毎年、国際交流としてニュージーランドEITへの語学研修を実施しています。本年度は、モンゴル高専との国際交流事業として、本校において「モンゴル3高専学生研修」、「モンゴル高専教員研修」が実施されました。今後の国際交流と海外展開が、期待されます。

総務主事補 近藤 崇

《高専通信に関するお問い合わせ先》

苫小牧工業高等専門学校 総務課総務係 〒059-1275 苫小牧市字錦岡 443  
TEL0144-67-0213 メールアドレス pub\_info@tomakomai-ct.ac.jp

